

予算決算委員会 産業建設分科会 会議録

日 時 令和2年6月15日（月曜日）

午前11時5分開会 午前11時14分閉会

場 所 第1委員会室

日 程

- 1 開 会
 - 2 委員長挨拶
 - 3 協議・説明事項
 - 4 閉 会
-

出席委員（8名）

委員長	勝田	達也
副委員長	小坂	博
委 員	内田	卓男
委 員	柏村	忠志
委 員	寺内	充
委 員	矢口	清
委 員	柳澤	明
委 員	平石	勝司

欠席委員（0名）

説明のため出席した者（3名）

副市長	栗原	正夫
都市産業部長	船沢	一郎
商工観光課長	羽成	健之

事務局職員出席者 松本 裕司

傍聴者（2名）

議員	鈴木	一彦
議員	田子	優奈

○**勝田委員長** ただ今から予算決算委員会・産業建設分科会を開催いたします。
それでは、協議事項に入ります。議案第44号令和2年度土浦市一般会計補正予算（第4回）歳出中第6款（商工費）について執行部より説明願います。

○羽成商工観光課長 議案第44号令和2年度土浦市一般会計補正予算（第4回）について説明いたします。議案書の48ページをお願いいたします。第6款商工費3目商業近代化促進事業費、事業の方は、土浦市中心市街地開業支援事業でございます。

この事業は、空き店舗対策・創業支援を目的として、本事業につきましては、中心市街地の空き店舗を活用し、新たに開業する方を対象としまして、家賃の一部若しくは改装費の一部を補助するものとなっています。家賃の補助は、申請時から12箇月分を交付決定するものとなりますので、年度末に申請のあったものは、年度をまたぎまして継続交付となるものでございますが、昨年度、予算編成後に交付申請が多くございましたことから、今年度予算の約9割以上を継続交付決定に充てることとなってしまったところでございます。しかしながら、今年度、既に開業を検討しており、申請を希望している方については、予算不足により、現在は受付ができていないところから、この度、377万9,000円の増額補正をお願いするものでございます。また、先日の委員会におきまして、柏村委員より、空き店舗数と、その内の会議所会員の数についてお尋ねがございました。区域内全体の空き店舗調査については、市役所、会議所の方でも行っておりませんが、駅前周辺の商店会においては、調査を行っておりますので、報告申し上げます。

令和2年2月時点におきまして、モール商店会をはじめ、15の商店会で、72の空き店舗を確認しております。前年より3件増えている状況です。なお、この内、商工会議所会員の数につきましては、確認ができない状況となっております。大変申し訳ございません。説明は、以上でございます。

○勝田委員長 はい、ありがとうございました。ただ今の件について、質問等ありますか。

（「なし」の声あり）

○柏村委員 中心市街地というのは、何をもって定めているのですか

○船沢産業部長 中心市街地の考え方ですが、法律の方で都市機能の集積、人口の基準がございまして、そういった部分を勘案しまして、土浦駅前のエリアを設定いたしました。エリアを設定し、総理大臣の認定を受けて、計画ということになっています。

○柏村委員 エリアについては存じていますが、中心市街地においては、人口の何%がそこに集中していないとかがあったかと思いましたので、その条件が満たされているかというのをお聞きしたかったのです。

○船沢産業部長 特に人口の中で何%との基準は法律の中では、ございません。

○柏村委員 分かりました。

○勝田委員長 他になきようであれば、お諮りします。議案第44号令和2年度土浦市一般会計補正予算（第4回）第1表中第6款（商工費）については、原案どおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○勝田委員長 ご異議なしと認めます。よって議案第44号は、原案どおり決しました。委員の方から何かございますか。

○内田委員 副市長さんね、国会で補正予算が通過したようですが、地方創生臨時交付金でだいぶ大きい予算がこれから土浦へ来ると言うんです。今回の3億6000万なんぼと、千何百万のクラウドファンディングの財源は、繰越金で充当したということですが、後追いで、国の補正予算に該当すれば、後からそこへ補填するという考え方でよろしいでしょうか。

○栗原副市長 交付金要項であつたり、使途が示されると思いますが、例えば、地域の消費の活性化の政策等に充当していくように、努めていきたいというように考えております

○内田委員 可能だということでもいいですね。

○勝田委員長 ほかにございますでしょうか。では、これで予算決算委員会分科会を閉会します。